平成１６年度　試験研究発表題名一覧

＜支所長＞

１．Sergey K. Krivonogov(ロシア科学アカデミー)，Hikaru Takahara，Yaroshlav V. Kuzmin，Lyobov A. Ordova，AJTimonthy Jull，Toshio Nakamura，Miyoshi Norio，Kimiyasu Kawamuro．Radiocarbon chronology of the Late Pleistocene-Holocene paleogeogra phic events in Lake Baikal region(更新世後期および完新世における古地理学イベントの放射年代) Radiocarbon 46：1-10

２．河室公康．新任の挨拶．関西支所研究情報72：１

３．河室公康．関西支所の地域研究－過去・現在・将来－．所報42

＜研究調整官＞

４．三枝茂（山梨県森林総合研究所)，名取潤（山梨県森林総合研究所)，小澤雅之（山梨県森林総合研究所)，上杉三郎，原田寿郎．木炭・セメント混合ボードの開発に向けて．木材工業　５９巻８号

５．原田寿郎，上杉三郎．厚物木質ボードの耐火性能と熱画像による裏面温度の評価．日本建築学会大会学術講演梗概集 2004：3009

６．上杉三郎，玉川祐司（ミサワホーム)，遊佐秀逸，増田秀昭，川合孝明（建築研究所)．木質系構造の耐火性能に関する研究その12 床の載荷加熱試験．日本建築学会大会学術講演梗概集 2004：3067

７．原田寿郎，上杉三郎．構造用面材料の耐火性能評価法確立のための開発調査．森林総合研究所交付金プロジェクト研究成果集（性能規定化に対応した国産材による高信頼性構造材の開発調査）4：59-66

＜チーム長（ランドスケープ保全担当）＞

８．Oka, T（岡輝樹)，Miura, S.(三浦慎吾)，Masaki, T.（正木隆)，Suzuki, W.（鈴木和次郎)，Osumi, K（大住克博）&　Saitoh, S.（斉藤正一)．Relationship between changes in beechnut production and asiatic black bears in northern Japan（北日本におけるブナ堅果生産量の変動とツキノワグマの関係)．The journal of wildlife management 68：979-986

９．Suzuki, W.（鈴木和次郎)，Osumi, K（大住克博）&　Masaki, T.（正木隆)．Mast seeding and its spatial scale in Fagus crenata in northern Japan（北日本のブナの豊作とその空間スケール)．Forest Ecology and Management 205：105-116

10．大住克博，石井敦子（滋賀県立大学)．コナラの特異的な繁殖早熟性とその生態的意味の解釈．日本林学会学術講演集 115：B18

11．石井敦子（滋賀県立大学)，大住克博，小林慶子（横浜国立大学)．異なった伐採頻度下でのコナラ属の分布．日本林学会学術講演集 115：C05

12．Buot I. E. Jr.（フィリピン大学)，Osumi, K.（大住克博)．Vertical Distribution of Tree Vegetation in a Landscape under Intensive Human Activity at Mt. Mayon National Park, Philippines（フィリピン、マヨン山国立公園における人為影響を受けた森林植生の垂直分布)．日本林学会学術講演集 115：5028

13．佐藤匠（広島大学)，井鷺裕司（広島大学)，崎尾均（埼玉県林業試験場)，大住克博，後藤晋．低密度樹種カツラの遺伝子流動と遺伝構造．日本林学会学術講演集 115：I15

14．星崎和彦（秋田県立大学)，正木隆，関口和美（秋田県立大学)，高橋和規，大住克博，鈴木和次郎．渓畔林における土石流撹乱後の植生遷移と稚樹定着過程．日本林学会学術講演集 115：C03

15. Buot I. E. Jr.(フィリピン大学)，Osumi, K.(大住克博)．Satoyama landscape in the Philippines（フィリピンにおける里山景観)．Journal of Nature Studies 3：1-11

16．大住克博．湖西の里山から (1)薪(まき)．森林総合研究所関西支所研究情報 72:4

17. 大住克博. 湖西の里山から (2)ヨクサ(草). 森林総合研究所関西支所研究情報 73：4

18. 大住克博. 湖西の里山から (3)小松. 森林総合研究所関西支所研究情報 74：4

19. 大住克博. 湖西の里山から (4)竹. 森林総合研究所関西支所研究情報 75：4

＜チーム長（大気・森林系担当）＞

20. Yoshiaki Goto（後藤義明）. Early post-fire vegetation regeneration in Larix kaempferi artificial forests with an undergrowth of Sasa senanensis（林床にクマイザサを伴うカラマツ人工林における山火事後の初期の植生回復）. Ecological Research 19：311-321

21. 後藤義明, 玉井幸治, 深山貴文, 小南裕志. 京都府南部における広葉樹二次林の構造と５年間の林分動態. 日本生態学会誌 54：71-84

22. 後藤義明, 金子真司, 池田武文（京都府立大学), 深山貴文, 玉井幸治, 小南裕志, 古澤仁美. 海水の空中散布がクヌギおよびその林地土壌に及ぼす影響. 日本林学会誌 86：327-336

23. 上村真由子（神戸大学), 小南裕志, 金澤洋一（神戸大学), 後藤義明. 密閉式自動チャンバーを用いた枯死木分解呼吸量の長期変動. 日本林学会大会学術講演集 115：80

24. Koji Tamai（玉井幸治), Yoshiaki Goto（後藤義明), Yuji Kominami（小南裕志), T akafumi Miyama（深山貴文）. Change in discharge and the discharge-duration curve using the parallel watershed method －66 years of observation in the tatsunokuchi-yama experimental forest －（並行流域法を用いた流出量および流況曲線の変化－竜の口山試験地における66年間の観測－）. Forests and Water in Warm, Humid Asia. Proceedings of a IUFRO Forest Hydrology Workshop：122-125

25. 檀浦正子（神戸大学), 小南裕志, 玉井幸治, 深山貴文, 後藤義明, 金澤洋一（神戸大学). 京都府南部の落葉広葉樹林における CO_2交換過程の評価（5）－自動開閉式チャンバーによる根呼吸量の連続測定－. 日本森林学会大会学術講演集 116：479

26. 深山貴文, 小南裕志, 玉井幸治, 後藤義明. 落葉広葉樹二次林における樹体表面積及び呼吸量の推定－京都府南部の落葉広葉樹林における CO_2交換過程の評価（1). 日本森林学会大会学術講演集 116：480

27. 小南裕志, 玉井幸治, 深山貴文, 後藤義明. コナラ・ソヨゴ林における大気－森林系 CO_2フラックスの解明. 森林総合研究所交付金プロジェクト研究成果集３「森林、海洋等における CO_2収支の評価の高度化」：71-74

28. 後藤義明. はげ山を緑化して100年経った森林は今？. 森林総合研究所所報 43：4-5

29. 後藤義明, 玉井幸治, 小南裕志、深山貴文. 竜の口山森林理水試験地観測報告(1981年１月～2000年12月). 森林総合研究所研究報告 4：87-133

＜チーム長（野生鳥獣類管理担当）＞

30. 日野輝明. Resident males of small species dominates immigrants of large species in avian heterospecific flocks（鳥の混群において小形種の先住オス個体は大型種の侵入個体よりも優位である). Ornithological Science 4(1)：101-104

31. 日野輝明. 鳥たちの森. 日本の森林／多様性の生物学シリーズ④：全項242p

32. 日野輝明. 鳥類相、群集など16項目. 鳥類学辞典：延べ16p

33. Teruaki Hino（日野輝明). The role of the Rufous Vanga in a mixed-species flocks（混群におけるアカオオハシモズの役割). Social organization of the Rufous Vanga：57-78

34. 日野輝明, 古澤仁美, 伊東宏樹, 高畑義啓, 上田明良, 伊藤雅道（横浜国立大学). シカを捕るだけでは森は蘇らない. 日本生態学会大会講演要旨 51：224

35. 日野輝明, 藤田久美子（近畿大学), 伊東宏樹, 古澤仁美, 高畑義啓, 上田明良. ニホンジカがいなくなるとミヤコザサはどのように地上部現存量を回復させるか？. 日本生態学会大会講演要旨 52：195

36. 日野輝明．シカを捕るだけでは森林は蘇らない．森林総合研究所関西支所年報 45：43

37. 日野輝明．シカによる適切な森づくり．森林再生支援センター主催シンポジウム「シカと森の「今」をたしかめる」要旨集：6

38. 日野輝明，古澤仁美，伊東宏樹，高畑義啓，上田明良．シカの個体数管理から森林生態系管理へ　－大台ヶ原自然再生のために－．森林総合研究所研究成果発表会講演要旨集：6-10

＜森林生態研究グループ＞

39. Setsuko S.（鈴木節子），K. Ishida（石田清），N. Tomaru（戸丸信宏）．Size distribution and genetic structure in relation to clonal growth within a population of Magnolia tomentosa Thunb.（Magnoliaceae）（シデコブシ集団のクローン成長におけるサイズ分布と遺伝的構造）．Molecular Ecology 13：2645-2653

40. Nagamitsu T.（永光輝義），M. Ogawa（小川みふゆ），K. Ishida（石田清），H. Tanouchi（田内裕之）．Clonal diversity，genetic structure，and mode of recruitment in a Prunus ssiori population established after volcanic eruptions（火山爆発後に成立したシウリザクラ集団におけるクローン多様性、遺伝的構造、新規加入様式 ）．Plant Ecology 174：1-10

41. 木佐貫博光，服部正治，林真由美，石田清．孤立林に生育するコバノミツバツツジの種子生産における花粉および資源の制限．中部森林研究53：1-4

42. Itô，H.（伊東宏樹），Hino，T.（日野輝明）．How do deer affect tree seedlings on a dwarf bamboo-dominated forest floor?（ササが優占する森林においてシカは樹木実生にどのように影響するか）．Ecological Research 20(2)

43. Ishida K.（石田清），K. Hirayama（平山貴美子）．Evolutionary consequences of geitonogamy and insufficient cross-pollination for mating systems in Magnolia trees.（モクレン属樹木において隣花受粉と他家受粉不足が交配様式に及ぼす影響）．Proceedings of the first EAFES international congress：83-84

44. 石田清，平山貴美子，戸丸信宏，鈴木節子．小集団化がシデコブシの遺伝的荷重に及ぼす影響－推移確率行列モデルによる予測－．日本生態学会大会講演要旨集 51：282

45. 平山貴美子，石田清，戸丸信宏，鈴木節子．シデコブシの小集団化が近親交配と近交弱勢、花粉不足に与える影響－集団サイズの異なる二集団での比較．日本生態学会大会講演要旨集 51：134

46. 鈴木節子，石田清，上野真義，津村義彦，戸丸信宏．マイクロサテライトマーカーを用いたシデコブシの送粉パターンの解析．日本生態学会大会講演要旨集 51：178

47. 井上みずき，石田清，菊沢喜八郎．雌雄異株クローナル植物ヤマノイモのラメット間競争を検出する－圃場１年目の試み－．日本生態学会大会講演要旨集 51：149

48. 加藤禎孝，石田清，佐藤宏明．ニホンジカの採食に対するイラクサの応答並びに刺毛形質の地域変異．日本生態学会大会講演要旨集 51：209

49. 岡崎純子，井上大輔，上野山雄也，石田清．特殊な性型雄性両性異株性を示すマルバアオダモ（モクセイ科）のマイクロサテライトマーカーを用いた野外集団の遺伝的構造の解析．日本生態学会大会講演要旨集 52

50. 加藤禎孝，石田清，佐藤宏明．イラクサの葉の外部形質の地域変異に及ぼすシカの採食の影響．日本生態学会大会講演要旨集 52

51. 木佐貫博光，服部正治，林真由美，石田清．孤立林に生育するコバノミツバツツジの種子生産における花粉および資源の制限．日本生態学会大会講演要旨集 52

52. 伊東宏樹，日野輝明，高畑義啓，古澤仁美，上田明良．シカとササは樹木実生にどのように影響するか？．日本生態学会講演要旨集 51：207

53. 伊東宏樹，日野輝明，高畑義啓，古澤仁美，上田明良．ミヤコザサ地上部現存量と樹木実生の生残との関係．日本生態学会講演要旨集 52：490

54. Kazuki Miyamoto（宮本和樹）. Above- and below-ground competition among Betula grossa saplings（ミズメ稚樹における地上部と地下部での競争）. Biodiversity in Forests under changing Environment, Kyoto University Open Scientific Workshop, Abstract：19

55. 宮本和樹，谷口真吾（兵庫県森林林業技術センター）. ミズメ実生における地下部個体間相互作用が個体の特性におよぼす影響. 日本生態学会大会講演要旨集 51：176

56. 宮本和樹，谷口真吾（兵庫県森林林業技術センター）. ミズメ稚樹の地下部における競争が個体の成長に及ぼす影響. 日本生態学会大会講演要旨集 52

57. 石田清. スギ・ヒノキ人工林化が林床植物ミヤコアオイの種子生産に及ぼす影響. 平成15年度森林総合研究所関西支所年報 45：31

58. 石田清. スギ・ヒノキ人工林化は林床草本ミヤコアオイの存続に影響しているか？. 森林総合研究所関西支所研究情報 75：2

59. 伊東宏樹，高畑義啓. 森林更新をめぐるシカとネズミとササの複雑な関係. 森林総合研究所関西支所年報 45：44

60. 宮本和樹. 地下部の資源をめぐるミズメ実生間の競争試験. 森林総合研究所関西支所年報 45：32

＜森林環境研究グループ＞

61. 金子真司，荒木誠，古澤仁美，後藤義明，服部重昭（名古屋大学），平野恭弘，井鷺裕司（広島大学），伊東宏樹，加茂皓一（ＪＩＲＣＡＳ），清野嘉之，小林忠一（元森林総合研究所），小南裕志，深山貴文，南部桂（ミッドスウェーデン大学），西本哲昭（元森林総合研究所），竹内郁雄，玉井幸治，千葉幸弘，鳥居厚志，吉岡二郎（元森林総合研究所）. 酸性雨等の森林生態系への影響モニタリングー関西スギ林における酸性降下物ー. 森林総合研究所研究報告 3：277-296

62. 玉井幸治，後藤義明，深山貴文，小南裕志. 林野火災とマツ枯れによる森林の衰退が流出量と流況曲線に及ぼす影響ー岡山市竜の口山量水試験地の場合ー. 日本林学会誌 86：375-379

63. 玉井幸治，小南裕志，深山貴文，後藤義明. Temporal fluctuations in the CO_2 efflux on a forest floor － The case of an extremely imaature forest soil －（林床面 CO_2フラックスの時間変動－極めて未熟な森林土壌の場合ー）. 日本農業気象学会誌 60：773-776

64. 小南裕志，田中信行，遠藤八十一，庭野昭二. Estimation of Snow Distribution under Global Warming Using Data from Remote Weather Stations（AMeDAS）（アメダスデータを用いた地球温暖化時の積雪環境の予測）. 日本農業気象学会誌 60：445-450

65. 小南裕志，深山貴文，玉井幸治，上村真由子（神戸大学），檀浦正子（神戸大学），後藤義明. Evaluation of nighttime eddy CO_2 flux using automated chamber measurements（自動開閉チャンバー観測による乱流変動観測によるフラックスの評価ー）. 日本農業気象学会誌 60：745-748

66. 古澤仁美，金子真司. 緑化工試験地における施工後８年間の土壌の化学性と微生物バイオマスの変化. 日本緑化工学会誌 30：524-531

67. 谷川東子，高橋正通，今矢明宏. 森林生態系における硫黄の循環と土壌の硫黄集積機構の意義―土壌の硫黄蓄積とその理化学性との関係―. 地球環境 9(1)：19-28

68. 谷川東子，高橋正通，今矢明宏. 森林土壌における硫黄化合物の蓄積実態. 環境科学会誌 17(3)：211-215

69. Hirano, Y.（平野恭弘）, Graf-Pannatier, E., Zimmermann, S. and Brunner, I.（スイス森林研究所）. Indution of callose in roots of Norway spruce seedlings after short-term exposure to aluminum. Tree Physiolosy 24：1279-1283

70. Masako Dannoura（檀浦正子）（神戸大学），Yuji Kominami（小南裕志），Yasuhiro Hirano（平野恭弘），Yoichi Kanazawa（金澤洋一）（神戸大学），Yoshiaki Goto（後藤義明）．Measurement of root respiration using potted Japanese cedar（スギポット苗を用いた根呼吸量の測定）．Memoirs of Graduate School of Science and Technology、Kobe University 23（A）：67-73

71. 深山貴文，小南裕志，玉井幸治，後藤義明．Seasonal changes in nocturnal foliar respiration in a mixed deciduous and evergreen broad-leaved forest（落葉・常緑混交林における夜間葉群呼吸の季節変化）．日本農業気象学会誌 60：753-756

72. 金子真司，平野恭弘，内藤文哉（近畿大学），玉井幸治，古澤仁美．京都府南部の落葉広葉樹二次林における土壌水および渓流水中の Fe，Al 濃度．日本林学会大会学術講演集 115：530

73. 金子真司，秋枝紀子，山中啓介（島根県），平野恭弘．花崗岩はげ山緑化地の土壌回復の展望．日本土壌肥料学会講演要旨集 50：117

74. 金子真司，平野恭弘，深山貴文．渓流水質モニタリングデータにおける降雨イベントの影響．林学会関西支部大会発表要旨集

75. 玉井幸治，後藤義明，深山貴文，小南裕志．Change in discharge and the discharge duration curve using the parallel watershed method -66years of observation in the Tatsunokuchi-Yama Experimental Forest-（対照流域法を用いた流出量と流況曲線の変化－竜の口山試験林における66年間の観測－）．Forests and Water in Warm, Humid Asia（温暖湿潤なアジアにおける森林と水）：122-125

76. 玉井幸治．Measuring micro-weather in a valley cross-section（谷地形横断面における微気象観測）．11th Conference on mountain meteorology（第11回山岳気象学会）：6.1

77. 玉井幸治．The temporal fluctuations in soil respiration when precipitation is intercepted above the forest floor（林床面への降雨が遮断された場合の土壌呼吸量の時間変動）．26th Conference on agricultural and forest meteorology（第26回農林気象学会）：1.12

78. 玉井幸治，清水晃，延廣竜彦，壁谷直記，Sopher Chann（カンボジア森林野生動物科学研究所），Nara Tith（カンボジア森林野生生物科学研究所）．Characteristics of wind direction，verocity and profile inthe evergreen forest in central cambodia（カンボジア中央部の常緑林における風向、風速とその鉛直プロファイルの特性）．Advances in Integrated Mekong river management（集約的なメコン川管理の進展）：177-181

79. 清水晃，延廣竜彦，壁谷直記，玉井幸治，久保田多余子，坪山良夫．Some observations on evapotranspiration in an evergreen broad-leaf forest watershed，Cambodia（カンボジアの常緑広葉樹林における蒸発散量の観測）．Advances in Integrated Mekong river management（集約的なメコン川管理の進展）：130-135

80. 玉井幸治，清水晃，延廣竜彦，壁谷直記，Sophal Chann（カンボジア森林野生動物科学研究所），Nara Tith（カンボジア森林野生生物科学研究所）．Wind observations in the evergreen forest in central cambodia（カンボジア中央部における風速の観測）．International workshop on forest watershed 2004（2004年度森林流域に関する国際ワークショップ）：82-86

81. 清水晃，延廣竜彦，玉井幸治，服部重昭（名古屋大学），Sophal Chann（カンボジア森林野生動物科学研究所）．Clarification of forest management influence in water transfer process among soil-plant-atmosphere continum（土壌－植物－大気 連続体における水輸送に森林管理が及ぼす影響について）．International workshop on forest watershed 2004（2004年度森林流域に関する国際ワークショップ）：47-50

82. Sophal Chann（カンボジア森林野生動物科学研究所），Nara Tith（カンボジア森林野生生物科学研究所），清水晃，壁谷直記，延廣竜彦，玉井幸治，坪山良夫，久保田多余子．Set up of evapotranspiration observation system in an evergreen broad-leaf forest watershed（常緑広葉樹林における蒸発散観測システムの構築）．International workshop on forest watershed 2004（2004年度森林流域に関する国際ワークショップ）：51-54

83. 清水晃，延廣竜彦，壁谷直記，久保田多余子，玉井幸治，Sophal Chann（カンボジア森林野生動物科学研究所），Nara Tith（カンボジア森林野生生物科学研究所）．Meteological factors observation in an evergreen broad-leaf forest watershed（常緑広葉樹林における気象因子の観測）．International workshop on forest watershed 2004(2004年度森林流域に関する国際ワークショップ)：55-60

84. 延廣竜彦，清水晃，壁谷直記，久保田多余子，坪山良夫，玉井幸治，Sophal Chann（カンボジア森林野生動物科学研究所），Nara Tith（カンボジア森林野生生物科学研究所）．Differences in evapotranspiration between late rainy season and middle dry season in an evergreen broad-leaf forest（常緑広葉樹林における終雨季と中乾季での蒸発散の違い）．International workshop on forest watershed 2004(2004年度森林流域に関する国際ワークショップ)：61-66

85. Nara Tith（カンボジア森林野生生物科学研究所），Sophal Chann（カンボジア森林野生動物科学研究所），清水晃，壁谷直記，延廣竜彦，久保田多余子，坪山良夫，玉井幸治．Precipitation and stream flow measurement in Cambodia forest watershed（カンボジア森林流域における降水量、河川流出量の測定）．International workshop on forest watershed 2004(2004年度森林流域に関する国際ワークショップ)：5

86. 玉井幸治，小南裕志，深山貴文，後藤義明．京都府南部の落葉広葉樹林における CO_2交換過程の評価(2)－山地小流域レベルでの土壌呼吸量の推定－．日本森林学会大会要旨集 116：481

87. 延廣竜彦，清水晃，壁谷直記，久保田多余子，坪山良夫，玉井幸治，Chann Sophal（カンボジア森林野生生物科学研究所），Keth Nang（カンボジア森林野生生物科学研究所）．カンボジア常緑広葉樹林における降雨遮断に関する試験地設定と観測．日本森林学会大会要旨集 116：438

88. 檀浦正子（神戸大学），小南裕志，鈴木麻友美（神戸大学），深山貴文，後藤義明，玉井幸治，金澤洋一（神戸大学），上村真由子（神戸大学）．直径の違いを考慮した根呼吸量の測定．日本林学会大会学術講演集 115：510

89. 檀浦正子（神戸大学），小南裕志，金澤洋一（神戸大学），深山貴文，玉井幸治，後藤義明．自動開閉式チャンバ-を用いた根呼吸量の連続測定．日本生態学会大会要旨集 2004：140

90. 佐々木泰三（神戸大学），金澤洋一，小南裕志．年輪からみたコナラ成長量の年変動．日本林学会大会要旨集 115：504

91. 村真由子(神戸大学)，小南裕志，金澤洋一（神戸大学），後藤義明．広葉樹二次林における枯死木の動態．日本生態学会講演要旨集 51：127

92. 遠藤八十一（元森林総合研究所），小南裕志，山野井克己，竹内由香里，村上茂樹．表計算ソフトによる降雪深の計算方法．日本雪氷学会全国大会講演予稿集：72

93. 竹内由香里，小南裕志，遠藤八十一，山野井克己，村上茂樹，庭野昭二．粘性圧縮モデルで推定した雪崩発生時の斜面積雪安定度．日本雪氷学会全国大会講演予稿集：96

94. 小南裕志，竹内由香里，遠藤八十一，山野井克己，村上茂樹，庭野昭二．粘性圧縮モデルを用いた積雪安定度の推定方法．日本雪氷学会全国大会講演予稿集：95

95. 濱田昇吾（神戸大学），檀浦正子（神戸大学），小南裕志，深山貴文，玉井幸治，後藤義明，金澤洋一（神戸大学）．京都府南部広葉樹林における根呼吸量の推定手法の検討－トレンチ法を用いた場合－．日本森林学会大会要旨集 116：342

96. 小南裕志，深山貴文，玉井幸治，上村真由子（神戸大学），檀浦正子（神戸大学），後藤義明．京都府南部の落葉広葉樹林における CO_2交換過程の評価(1)－乱流変動法の多角的評価－．日本森林学会大会要旨集 116：374

97. 玉井幸治，小南裕志，深山貴文，後藤義明．Measurement temporal fluctuations in the CO_2 efflux on a forest floor using an automated chamber method -the case of extremely immature forest soil-（自動チャンバー法を用いた林床面 CO_2フラックスの時間変動の測定－極めて未熟な森林土壌の場合－）．International symposium on food protection and environmental conservation in the face of global environmental deterioration abstracts：101-102

98. 小南裕志，深山貴文，玉井幸治，後藤義明．Evaluation of nighttime eddy CO_2 flux using automated chamber measurements（自動開閉チャンバー観測による乱流変動観測によるCO_2フラックスの評価－）．International symposium on food protection and environmental conservation in the face of global environmental deterioration abstracts：96

99. 深山貴文，小南裕志，玉井幸治，後藤義明．山城試験地における夜間葉群呼吸量の季節変動特性．森林総合研究所関西支所年報45：34

100. 古澤仁美，荒木誠，日野輝明，伊東宏樹，上田明良，高畑義啓．シカとササが表層土壌の物理性と水分動態におよぼす影響．日本生態学会講演要旨集 51：207

101. 谷川東子，野口享太郎，赤間亮夫，高橋正通．亜高山帯土壌における硫黄無機化特性（Ⅱ）―培養による硫黄含有率および硫黄安定同位対比の変化―．日本林学会大会学術講演集 115：535

102. 谷川東子，高橋正通，今矢明宏，稲垣善之，石塚和裕．アンディソルとインセプティソルにおける硫酸イオンの断面分布と現存量－吸着態および溶存態硫酸イオンについー．日本土壌肥料学会講演要旨集 50：243

103. 高橋正通，稲垣昌宏，谷川東子，加藤正樹．森林土壌のモニタリングと森林の生育衰退状況．日本林学会大会学術講演集 116：147

104. Hirano, Y.（平野恭弘）and Brunner, I.（スイス森林研究所）．Callose in woody roots．COST Action E38 Woody Root Processes "Fine root dunamics workshop"

105. Hirano, Y.（平野恭弘）and Brunner, I.（スイス森林研究所）．Callose formation in tree roots as a physiological indicator for aluminum toxicity．International Congress Rhizosphere 2004 -Perspective and Challenges-：83

106. Hirano, Y.（平野恭弘），Sperisen, C. and Brunner, I.（スイス森林研究所）．Callose in poplar roots in response to heavy metal and aluminum stress．Woody Root Process under a Changing Environ ment：38

107. Qin, R. J.（スイス森林研究所），Hirano, Y.（平野恭弘）and Brunner, I.（スイス森林研究所）．Root exudates of poplar under aluminum stress．Woody Root Process under a Changing Environment：39

108. 平野恭弘，Brunner, I.（スイス森林研究所）．アルミニウムストレス指標としての細根中カロース．日本森林学会講演要旨 116

109. 深山貴文，小南裕志，玉井幸治，後藤義明．4器の自動葉群チャンバーで測定されたCO_2フラックスの季節変動及び空間変動特性について．日本林学会大会学術講演集 115：787

110. 深山貴文，小南裕志，玉井幸治，後藤義明．落葉広葉樹二次林における樹体表面積及び呼吸量の推定．日本森林学会大会要旨集 116：480

111. 深山貴文，小南裕志，玉井幸治，後藤義明．Long-term automated measurement of CO_2 exchange in sun and shade leaves of Quelcus serrata and Ilex pedunculosa tree（自動化によるコナラとソヨゴの陽葉と陰葉における二酸化炭素交換量の長期測定）．International symposium on food protection and environmental conservation in the face of global environmental deterioration abstracts 97

112. 金子真司．滋賀県志賀町八屋戸の里山土壌．森林総合研究所関西支所年報 45：33

113. 玉井幸治，後藤義明，小南裕志，深山貴文．森林と水との関わりー岡山市竜の口山量水試験地での観測からー．研究の”森”から 130

114. 竹内由香里，小南裕志，遠藤八十一，山野井克己，村上茂樹，庭野昭二．粘性圧縮モデルを用いた積雪安定度の推定と雪崩の発生．寒地技術論文・報告集 20：278-283

115. 小南裕志，深山貴文，玉井幸治，後藤義明．複雑な地形にある森林の二酸化炭素収支の計測．森林総合研究所平成15年度研究成果選集：26-27

116. 金子真司．近畿地域における渓流水中の溶存鉄・アルミニウム濃度．水利科学48(3)：33-45

117. 古澤仁美．シカはササを食べて森林土壌を変える．森林総合研究所関西支所年報 45：45

118. 谷川東子，高橋正通，吉永秀一郎，今矢明宏．イオウを貯める土・貯めない土－イオウが多い日本の土壌のナゾー．平成15年度研究成果選集：24-25

119. 谷川東子．森林土壌に含まれるイオウ．森林総合研究所関西支所研究情報 74：3

120. 深山貴文．コナラ葉群における夜間呼吸量の季節変動特性．森林総合研究所関西支所研究情報 73：3

121. 深山貴文．森林でCO_2の出入りをはかる．森林科学 42：87

122. 深山貴文，小南裕志，玉井幸治，後藤義明．山城試験地における夜間葉群呼吸量の季節変動特性．森林総合研究所関西支所年報 45：34

＜生物多様性研究グループ＞

123. Masao Amano（天野雅男），Toru Oi（大井徹），Azusa Hayano（早野あづさ）．Morphological differentiation between adjacent populations of Asiatic black bear，Ursusu thibetanus japonicus，in northern Japan．（北日本におけるツキノワグマ隣接個体群間の形態的差異について）．Journal of Mammalogy 85(2)：311-315

124. T. Shimada（島田卓哉），T. Saitoh（齊藤隆・北海道大学），and T. Matsui（松井徹・京都大学）．Does acclimation reduce the negative effects of acorn tannins in the wood mouse Apodemus speciosus?（堅果中のタンニンの負の効果は馴化によって軽減されるか？）．Acta Theriologica 49(2)：203-214

125. M Yoshimura（吉村真由美），K Maeto（前藤薫・神戸大学）．Comparison of sampling methods for aquatic insect indicators of forest condition in terms of collecti on efficiency（水生昆虫の指標種モニタリングのための効率的な採集方法）．Bulletin of FFPRI 3：213-220

126. M Yoshimura（吉村真由美），Y Isobe（磯辺ゆう・奈良女子文化短期大学），T Oishi（大石正・奈良女子大学）．A preliminary report on the ecological meaning of egg morphology (Plecoptera)．(カワゲラにおける卵形態の生態学的意義（予報))．Biology of Inland Waters 19：1-8

127. M Yoshimura（吉村真由美），I Okochi（大河内勇）．A decrease in endemic odonates in the Ogasawara Islands，Japan．（小笠原諸島における固有トンボの減少）．Bulletin of FFPRI 4：45-51

128. 大井徹．獣たちの森．日本の森林／多様性の生物学シリーズ③：全項244p

129. 宮下俊一郎．スギ暗色枝枯病菌の種内群と病原力との関係．作物保護の新展開－バイオサイエンスのかけはし－：62-64

130. 大井徹．滋賀県における1970年代から2003年にかけての群れ分布拡大地域における植生の特徴．霊長類研究 20supplement：38

131. 下稲葉さやか（京都大学），大井徹，鳥居春己（奈良女子大学）．ニホンツキノワグマにみられる頭骨変異．2004年度哺乳類学会講演要旨集：71

132. 大井徹．被害防除を担うシステムの問題点．鳥獣害プロジェクト研究と特定鳥獣保護管理計画に関する合同ワークショップ、自然環境研究センター・森林総合研究所

133. Sayaka Shimoinaba（下稲葉さやか），Toru Oi（大井徹），Harumi Torii（鳥居春巳）．Morphological variation of the Japanese black bear，Ursus thibetanus japonicus．（ニホンツキノワグマの形態変異について）．International Symposium on Systematics and Phylogeography of Mammals in Eastern Asia：39

134. 宮下俊一郎．スギ・ヒノキ暗色枝枯病菌に特異的な PCR プライマーの開発．日本林学会大会学術講演集 115：53

135. 佐々木英生，西谷洋輔，大澤朗（神戸大学大学院），島田卓哉．アカネズミ（Apodemus speciosus）の糞便から分離されたタンナーゼ活性を有する細菌の分類．日本細菌学会総会日本細菌学会誌 59(1)：76

136. 島田卓哉，齊藤隆（北海道大学），大澤朗，佐々木英生（神戸大学）．アカネズミのタンニン代謝においてタンナーゼ産生腸内細菌が果たす役割．日本生態学会大会講演要旨集 51：211

137. S. Shimoinaba（下稲葉さやか，京都大学），T. Shimada（島田卓哉），E. Kitahara（北原英治），F. Yamada（山田文雄）and T. Oi（大井徹）. Growth and sexual dimorphism in skull morphology of the Japanese black bear, Ursus thibetanus japonicus（Mammalia, Carnivora）in Kyoto, Japan（日本産ツキノワグマの頭骨における成長と性的二型）. The XIXth International Congress of Zoology, abstract, 19：464-465

138. 島田卓哉，齊藤隆（北海道大学），大澤朗，佐々木英生（神戸大学）．アカネズミに育てられたマウスは高いタンニン耐性を持つのか？ -フォスタリングによるタンナーゼ産生細菌の効果の検証-．日本哺乳類学会大会講演要旨集 2004：62

139. 大谷新太郎（大阪府食と緑の総合技術センター），他9名（島田卓哉，7巡目記載）．Signs of 2, 3, 7, 8-tetrachlorodibenzo-p-dioxin exposure in adult large Japanese field mice（ダイオキシン曝露のアカネズミへの影響）．4th SETAC（Society of Environmental Toxicology and Chemistry）World Congress abstract, 4：259

140. Okochi, I., Tanaka, N., Makino, S., Yamashita, N., Ito, T., Abe, T., Yoshimaru, H., Tani, N., Kawahara, T., Kawakami, K., Takano, H., Yoshimura, M., Kondo, T., and Itahana, N.（大河内勇、田中信行、牧野俊一、山下直子、伊藤武治、安部哲人、吉丸博志、谷尚樹、河原孝行、川上和人、高野肇、吉村真由美、近藤禎二（林木育種センター）、板鼻直栄（林木育種センター））. Restration and conservation of island forest ecosystems in the Ogasawaras.（小笠原の島の森林生態系の修復と保全）. Proc. Inter. Workshop BIO-REFOR, Yogyakarta 2003：117-118

141. 大河内勇，田中信行，牧野俊一，吉丸博志，谷尚樹，安部哲人，伊藤武治，山下直子，河原孝行，吉村真由美，川上和人，高野肇，近藤禎二（林木育種センター），板鼻直栄（林木育種センター）．小笠原における森林生態系の崩壊と、その回復のための基本的戦略．日本林学会大会学術講演要旨集 115：240

142. Mayumi Yoshimura（吉村真由美）. The relation between egg incubation period and their habitat in several species of Plecoptera（卵期間と生息地との関係）. The First Korea-Japan Joint Limnology Symposium（2004）：142

143. I Okochi, M Yoshimura, H Makihara, S Makino, and H Karube(大河内勇，吉村真由美，槇原寛，牧野俊一，苅部治紀（神奈川県立生命の星・地球博物館)). Collapse of island insect faunas due to invasion by an exotic lizard, Anolis carolinensis（外来種グリーンアノールによる島の昆虫相の崩壊）. XXII International congress of Entomology, Brisbane（2004）：CD-ROM

144. 戸田光彦（自然環境研究センター），岸本年郎（自然環境研究センター），鋤柄直純（自然環境研究センター），苅部治紀（神奈川県立生命の星・地球博物館），大河内勇，槇原寛，吉村真由美．小笠原諸島における侵入種グリーンアノール及びオオヒキガエルの影響と生物多様性保全戦略．国際会議 外来種リスクの評価とその管理

145. Y Isobe, M Yoshimura, T Oishi（磯辺ゆう（奈良女子文化短期大学），吉村真由美，大石正（奈良女子大学）. Stonefly eggs in sandy shore of a mountain stream（渓流の砂岸のカワゲラの卵について）. Abstract book of XI International Conference on Ephemer optera and XV International Symposium on Plecoptera 2004 Joint Meeting：21

146. M Yoshimura（吉村真由美）. Comparison of adult stonefly behavior between before and after mating under keeping condition.（飼育下におけるカワゲラ成虫の行動について）. Abstract book of XI International Conference on Ephemeroptera and XV International Symposium on Plecoptera 2004 Joint Meeting：23-24

147. M Yoshimura（吉村真由美）. The relation between egg hatching and photoperiod in Amphinemura sp.（Plecoptera）.（卵孵化と光周期との関係）. Zoological Science 21：1349

148. 吉村真由美．フサオナシカワゲラ Amphinemura sp.における卵孵化と光周期との関係．日本動物学会大会予稿集 75：234

149. 吉村真由美，山田毅．フサオナシカワゲラ Amphinemura sp. の孵化前後におけるイオン含有量の変化．日本陸水学会大会講演要旨集 69：237

150. 大河内勇，吉村真由美．小笠原諸島におけるグリーンアノールの個体群密度．日本爬虫両棲類学会大会講演要旨集 2004：43

151. 吉村真由美．山地小渓流における水生生物群集の比較.日本生態学会大会講演要旨集 52：102

152. 大河内勇，吉村真由美，安部哲人，加賀谷悦子．侵略的外来種グリーンアノールが小笠原で果たしつつある生態的機能．日本生態学会大会講演要旨集 52：318

153. 大西尚樹，齊藤隆（北海道大学・フィールド科学センター），石橋靖幸，北原英治，金森弘樹（島根県中山間地域研究センター），西信介（鳥取県林業試験場），大井徹．Population Genetic Structures of the Asian Black Bear in Japan: a Comparison among Isolated Populations and Continued Populations（日本におけるツキノワグマ個体群の遺伝的な構造：孤立個体群と連続個体群の比較）．国際保全生態学会プログラム・講演要旨集(2004) 18

154. 有馬浩史（京都大学医学部），須川恒（龍谷大学），大西尚樹．ユリカモメの外部形態における性的二型性．日本鳥学会2004年度大会プログラム・講演要旨集(2004)

155. 大西尚樹，齊藤隆（北海道大学・フィールド科学センター），石橋靖幸．本州中部ツキノワグマ個体群の遺伝構成：ミトコンドリア DNA 解析から個体群成立の歴史的背景をさぐる．日本哺乳類学会2004年度大会プログラム・講演要旨集(2004)

156. 有馬浩史(京都大学医学部)，須川恒(龍谷大学)，大西尚樹．鳴声を性別判定基準とするオオミズナギドリ個体群の研究－雄が雄の上にマウントしているのか？－．日本生態学会2004年度大会プログラム・講演要旨集(2005)

157. 大井徹．サル探しの秘訣発見－サルの声はどこまで届く？－．森林総合研究所所報 38：64

158. 大井徹．滋賀県のニホンザル分布拡大地域における植生の特徴．森林総合研究所関西支所研究情報 75：3

159. 宮下俊一郎．特異的 PCR プライマーによるスギ・ヒノキ暗色枝枯病菌の検出．森林総合研究所関西支所年報 45：35

160. 吉村真由美．渓流の中に住む水生昆虫.研究情報 74：2

＜生物被害研究グループ＞

161. Kuroda, K.（黒田慶子）. Inhibiting factors of symptom development in several Japanese red pine (Pinus densiflora) families selected as resistant to pine wilt. Journal of Forest Research 9：217-224

162. Tadahisa Urano（浦野忠久）. Experimental release of a parasitoid, Dastarcus helophoroides (Coleoptera: Bothrideridae), on Monochamus alternatus (Coleoptera:Cerambycidae) infesting Pinus densiflora in the field.（マツノマダラカミキリ穿入アカマツ樹幹を用いたサビマダラオオホソカタムシの野外放飼試験）. Bulletin of the Forestry and Forest Products Research Institute 3：205-211

163. 衣浦晴生.穿入丸太を用いたカシノナガキクイムシの接種によるミズナラ生立木の枯死．東北森林科学会誌 10(1)：37-40

164. 小林正秀(京都府林業試験場)，野崎愛(京都府林業試験場)，衣浦晴生．樹液がカシノナガキクイムシの繁殖に及ぼす影響．森林応用研究 13(2)：155-159

165. 衣浦晴生．日本海側の森林が枯れてゆく．森林環境白書 2005：171-178

166. 黒田慶子，佐々木峰子，岡村政則，藤澤義武（林木育種センター九州育種場）．マツの材線虫病抵抗性家系における発病阻止要因の検討---クロマツの抵抗性家系苗での線虫分布と増殖---．日林学術講 115：254

167. 黒田慶子．針葉樹人工林の健全性をどう考えるか---関西地域に発生した最近の枯損現象から---．日本林学会大会 115，樹木病害研究会 14

168. Kuroda，K.（黒田慶子），Ichihara，Y.，Kanbara，Y.，InouE，T.，Ogawa，A.（岩手医科大学）．Magnetic Resonance imaging of xylem dysfunction in *Quercus crispula* infected with a wilt pathogen，Raffaelea quercivora．Foliage，Shoot and Stem Diseases in Forest Trees，IUFRO Working Party 7.02.02 June 13-19，Oregon USA 要旨集：16

169. Kuroda，K.（黒田慶子），Ichihara，Y.，Kanbara，Y.，InouE，T.，Ogawa，A.（岩手医科大学）．Magnetic Resonance imaging of xylem dysfunction in Quercus crispula infected with a wilt pathogen，Raffaelea quercivora．C&I 2004 Symposium in Tsukuba，Abstract

170. 黒田慶子，市原優，神原芳行，井上敬，小川彰．Raffaelea quercivora を接種したミズナラ樹幹における変色および通導阻害の進展．日林学術講 116：3B11

171. 浦野忠久，井上牧雄（鳥取県林業試験場），石井哲（岡山県林業試験場），安東義朗（岡山県林政課），塩見晋一（兵庫県森林技術センター），軸丸祥大（広島県立林業技術センター），福井修二（島根県中山間地域研究センター），杉本博之（山口県林業指導センター），竹本雅晴（香川県森林センター）、稲田哲治（愛媛県林業技術センター）．関西地域におけるサビマダラオオホソカタムシの網室内羽化脱出調査．日本林学会大会学術講演集 115：245

172. Urano，T.（浦野忠久）．Experimental release of a parasitoid，*Dastarcus helophoroides*（Fairmaire）（Coleoptera: Bothrideridae），on *Monochamus alternatus* Hope（Coleoptera：Cerambycidae）. Entomology -Strength in diversity-　XXII International congress of entomology：CD-ROM

173. 浦野忠久．サビマダラオオホソカタムシの野外放飼試験－2004年放飼試験（３回目）の結果－．日本林学会関西支部大会研究発表要旨集 55：53

174. 浦野忠久．サビマダラオオホソカタムシ卵放飼丸太における寄生状況および羽化脱出消長．日本応用動物昆虫学会大会講演要旨 49：131

175. 浦野忠久．サビマダラオオホソカタムシを放飼したアカマツ樹幹内に見られるマツノマダラカミキリ原因不明死亡個体に関する検討．日本林学会大会学術講演集 116：CD-ROM

176. 衣浦晴生，小林正秀（京都府林業試験場）．カシノナガキクイムシのミズナラ生立木への人工接種．日本林学会学術講演集 115：84

177. Haruo Kinuura（衣浦晴生）．Inoculation of the adult beetles of Platypus quercivorus to Japanese oak trees（カシノナガキクイムシのミズナラ生立木への接種）．XXII　Internationl Congress of Entomology：CD-ROM

178. 衣浦晴生，小林正秀（京都府林業試験場）．カシノナガキクイムシ穿入孔から脱出した昆虫類．日本林学会関西支部大会研究発表要旨集 55：49

179. 衣浦晴生，小林正秀（京都府林業試験場）．カシノナガキクイムシの穿入したミズナラの生死と繁殖成功度（III）．日本応用動物昆虫学会大会講演要旨集 49：114

180. 衣浦晴生，小林正秀（京都府林業試験場），斉藤正一（山形森林研究研修センター），所雅彦，中島忠一．合成フェロモンによるカシノナガキクイムシ野外誘引試験．日本林学会学術講演集 116：407

181. 小林正秀（京都府林業試験場），野崎愛（京都府林業試験場），衣浦晴生．ナラ類の樹液流出がカシノナガキクイムシの繁殖に及ぼす影響．日本林学会学術講演集 115：82

182. 所雅彦，小林正秀（京都府林業試験場），野崎愛（京都府林業試験場），中島忠一，衣浦晴生，齊藤正一（山形県森林研究研修センター）．カシノナガキクイムシ集合フェロモンの GC-EAD による解析．日本応用動物昆虫学会大会講演要旨集 49：184

183. 小林正秀(京都府林業試験場), 野崎愛(京都府林業試験場), 衣浦晴生, 二井一禎（京都大学）. カシノナガキクイムシ穿入枯死木で捕まえた昆虫類. 日本林学会学術講演集 116：406

184. 高畑義啓, 宮下俊一郎, 衣浦晴生. 紀伊半島のカシノナガキクイムシから分離された酵母類. 日本林学会学術講演集 116：360

185. 中島忠一, 齊藤正一（山形県森林研究研修センター), 小林正秀(京都府林業試験場), 衣浦晴生, 所雅彦, 柏木丈拡（愛媛大学), 金哲史（高知大学). カシノナガキクイムシ集合フェロモンの化学構造と生理活性. 日本農芸化学会大会要旨集 2005：10

186. 高畑義啓, 古澤仁美, 伊東宏樹, 上田明良, 日野輝明. シカ, ネズミ, ササの除去が大台ケ原針広混交林におけるウラジロモミ実生の菌根形成率に与える影響. 日本林学会大会学術講演集 115：1026

187. 黒田慶子. マツ材線虫病の発病メカニズムと抵抗性. 九州大学大学院農学研究院森林資源科学部門講演会

188. 黒田慶子. 針葉樹人工林の健全性低下による集団枯損. 森林総研関西支所年報 45：36

189. 浦野忠久. サビマダラオオホソカタムシのマツ枯損被害地における放飼試験（２回目). 森林総合研究所関西支所年報 45：37

190. 衣浦晴生. カシノナガキクイムシの「鳴き声」とその意味. 森林総合研究所関西支所研究情報 73：2

＜森林資源管理研究グループ＞

191. 横山恭子（京都大学院), 奥敬一, 深町加津枝（京都府立大学). 都市近郊における住民の景観保全意識と属性および里山保全活動の関係. 農村計画論文集 6：91-96

192. 奥敬一, 深町加津枝（京都府立大学). 嵐山の森林景観における地域らしさの評価構造. ランドスケープ研究 68(5)：747-752

193. 小川菜穂子（スペースビジョン), 深町加津枝（京都府立大学), 奥敬一, 柴田昌三（京都大学院), 森本幸裕（京都大学院). 丹後半島におけるササ葺き集落の変遷とその継承に関する研究. ランドスケープ研究 68(5)：627-632

194. 田中亘. 林業就業者の実像と就職環境に関する研究－京都府の就業前体験「グリーンスカウト」を事例として－. 林業経済研究（2004）50-2：29-38

195. 近藤洋史, 吉本敦（東北大学), 松村直人（三重大学). 森林資源管理と数理モデル Vol. 4

196. 今田盛生ら（近藤洋史). GIS・データベース. 森林組織計画

197. 奥敬一, 深町加津枝, 大住克博.「見せる風致施業」はどこまで語られてきたか. 日本林学会学術講演集 115：133

198. Hiroshi Kondoh, Koichi Ikeda(Fukuoka Pref. For. Res. and Exten. Ctr.), Toru Koizumi, Takuhiko Murakami(Kyushu Univ.), Shigejiro Yoshida(Kyushu Univ.). The Distribution Analysis of Sika deer（Cervus nippon） Browsing Damage on the Side of Mt. Hiko in Fukuoka Prefecture、Kyushu、Japan.（福岡県におけるニホンジカ枝葉採食被害の分布解析). Abstract Proceedings of International Symposium on The Role of Forests for Coming Generations

199. 近藤洋史, 池田浩一（福岡県森林林業技術センター), 小泉透, 村上拓彦（九州大学), 吉田茂二郎（九州大学). 福岡県英彦山周辺地域におけるニホンジカ生息密度と森林被害との関係解析. 日本林学会大会学術講演集（2004）115：618

200. 奥敬一, 正法院知絵（近畿大学), 深町加津枝. 里山散策道における体験評価指標に関する考察. 日本林学会大会学術講演集 115：24

201. 横山恭子（京都大学院), 深町加津枝, 奥敬一. 宅地開発規模の異なる２地域の里山における住民の景観保全行動の比較. 日本林学会大会学術講演集 115：23

202. 深町加津枝，奥敬一．滋賀県湖西地域の里山における今日の地域資源の連関．日本林学会大会学術講演集 115：22

203. 小川菜穂子（スペースビジョン），深町加津枝，奥敬一，柴田昌三（京都大学院），森本幸裕（京都大学院）．ササ葺き集落景観の変遷とその継承に関する研究 －京都府宮津市上世屋地区を事例として－．日本林学会大会学術講演集 115：21

204. 堀内美緒（京都大学院），深町加津枝，奥敬一．Traditional Satoyama landscape around 1930 in Japan. Philippine Society for the Study of Nature, Nature News. 3(1), 4th Annual National Scientific Convention, Abstracts Proceedings：64

205. 滝澤伸（宮城県林業試験場），奥敬一，深町加津枝（京都府立大学）．里山二次林における林分構造と視覚的好ましさの関係．日本林学会大会学術講演集 116

206. 田中亘．地方自治体による里山林利用・保全施策．日本林学会関西支部大会研究発表要旨集（2004）55：２

207. 吉村妙子，野田英志，細田和男，田中亘．里山保全・利用・管理に関する地方自治体の取り組み－関東地方市町村を対象としたアンケートから－．日本林学会大会学術講演集（2004）115：554

208. 田中邦宏，笹川裕史，松本光朗．システム収穫表 LYCS に用いるパラメータの導出．日本林学会大会学術講演集 115：607

209. 近藤洋史，田中邦宏，田中亘，奥敬一．滝谷スギ収穫試験地の林分構造と成長．森林総合研究所関西支所年報（2005）45：39-40

210. 近藤洋史．年輪を測る．研究情報 72：3

211. 近藤洋史．高齢人工林の成長の変遷．研究情報 75：12

212. 奥敬一．里山の語り部「シシ垣」．森林総合研究所関西支所研究情報 72：2

213. 奥敬一．里山と市民活動．森林科学 42：24-30

214. 奥敬一．景観・風致形成機能、「森林の多面的機能」解説シリーズ28．森林総合研究所所報 45：3

215. 深町加津枝．湖西の里山から (1)薪(まき)．森林総合研究所関西支所研究情報 72：4

216. 深町加津枝．湖西の里山から (2)ヨクサ(草)．森林総合研究所関西支所研究情報 73：4

217. 深町加津枝．湖西の里山から (3)小松．森林総合研究所関西支所研究情報 74：4

218. 奥敬一．湖西の里山から（４）竹．森林総合研究所関西支所研究情報 75：4

219. 松本光朗，田中邦宏．システム収穫表 LYCS の改善と列状間伐への対応．平成15年度森林総合研究所研究成果選集：

220. 田中亘．地方自治体による里山林保全・利用の現状と課題．平成16年度森林総合研究所関西支所研究発表会パンフレット（2004）

221. 田中亘．2000年国勢調査から見る林業作業者数の変化．森林総合研究所関西支所年報（2004）45：38

222. 近藤洋史，田中亘，細田和男．新重山ヒノキ収穫試験地の林分構造と成長．森林総合研究所関西支所年報（2004）45：41-42